

第46回衆議院総選挙 立候補予定者の皆様へ (1/2)

1、今後の日本の原子力政策について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

直ちに全ての原発を廃炉にする。

- ・安全の確認された原発のみ稼働させ、10～20年以内に原発ゼロを目指す。
- ・原発の依存度は下げるが、将来的な原発ゼロには反対。
- ・原発の推進をはかる。
- ・どれでもない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

原発事故は、ひとたび放射性物質が大量に放出されると、その被害が空間的にも、時間的にも、社会的にも限定なしに広がり続け、人類は、それを防止する手段をもっていない。被害の想定自体が不可能です。
 原発の廃炉には、今後20年以上かかります。原発から再生可能エネルギーへの転換こそ、日本経済と産業の新たな成長と発展の可能性を切り開くことになる。

2、北海道電力 泊原子力発電所について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

直ちに廃炉にする。

- ・道内の電力使用状況に合わせ、安全確認を行いながら再稼働させる。
 (年以内に廃炉 / 特定の廃炉期日は設けない) ※いずれかを○でお選びください。
- ・道内の冬の安定した電力供給のため、今すぐ再稼働すべき。
- ・どれでもない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

北海道は多様な自然エネルギーの宝庫です。たとえば 風力発電のポテンシャルの1割を利用しただけでも、道内電力消費量のほぼ全量を見合うことのできる潜在エネルギー量があります。

3、電源開発による青森県 大間原発の建設再開について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

直ちに建設を断念すべき。

- ・道内各自治体および北海道への説明をしっかりと行い、慎重に建設の是非を議論すべき。
- ・建設再開を支持する。
- ・どれでもない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

野田政権の「原発ゼロ」は口先だけで、2030年代原発稼働ゼロもアメリカと財界の圧力で閣議決定していない。30年代+もお題目で新設工事の再開を認めめるのは、まったくのこまかしです。

第46回衆議院総選挙 立候補予定者の皆様へ (2/2)

4、幌延町の深地層研究センターについて。高レベル放射性廃棄物の最終処分場の有力候補とされていますが、幌延には稚内から続く活断層もありその危険性が指摘されています。この件についてご自身の考えに最も近いものをお選びください。

断固として認められない。

- ・慎重に安全性の確認を行い、道や自治体と議論の上、受け入れの是非を決めるべき。
- ・幌延町の経済発展にも繋がるので、安全性の確認の上で受け入れるべき。
- ・どれでもない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

核のゴミの持ち込みも文献調査も認められません。

5 (1)、道庁前反原発抗議行動について。私たち北海道反原発連合では、毎週金曜夜に道庁北門前にて反原発抗議行動を行っております。約20回続いておりますが、この抗議行動をご存知ですか？また、私たちの行動は原発問題にフォーカスしていますが、市民一人一人が日本の社会の問題に意思表示をすべく行動していることについて、ご意見等ございましたら備考欄にご記入願います。

知っている。

- ・知らなかった。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

一貫して侵略戦争反対と核兵器廃絶、核戦争阻止を訴えてきたからして、政界の一員として、心づよく思っています。「原発ゼロ」を目指す世論と運動をここで高めてきた事に敬意を表します。主権者としての新しい運動形態に希望を持っています。

5 (2)、私たちの道庁前抗議行動に参加したいと思いますか？

- ・参加したことがある (官邸前 / 道庁前 / その他地域にて)

機会があれば参加したい

札幌での「ようなら原発1万人集会」と他地域での集会、デモには参加しています。

- ・考えていない
- ・参加したくない。

お疲れさまでした。ご協力に感謝します。